



ほっとぴーぶる

HOT PEOPLE



最近のまちの話題をお届けします



01



01

子どもたちに おいしいパンをプレゼント

さしろの館が運営する「坂の上のパン屋さん」から、休校により児童クラブで過ごす子どもたちに、メロンパンが届けられました。パンが提供されたのは、笠間地区の5ヶ所の児童クラブ。

坂の上のパン屋さん店長の小嶋さんは「休校が続く子ども達に何かしてあげられればと思い提供を決めました」と話されました。

左から、坂の上のパン屋さん 小嶋店長、
かさまキッズクラブネリネ1年生の皆さん、
かさまキッズクラブネリネ 石上理事長

3/27

02



優秀賞を受賞した笠間高校の皆さん

02

笠間高校が優秀賞高校生コンテスト

「茨城の魅力を探求し発信する高校生コンテスト2019」で、115の応募作品の中から、笠間高校が動画部門で優秀賞に輝きました。

茨城大学人文社会科学部主催のこのコンテスト。地域資源をどのような視点で表現しているか、独自のアイデアや未来を創造するようなワクワクさせる内容かなどが審査されました。

これからも茨城の魅力を発信し続けてくれることを期待しています。

Youtubeで
動画を公開中!





R-1を手渡す笠間ミルクセンターの野村さん（右）

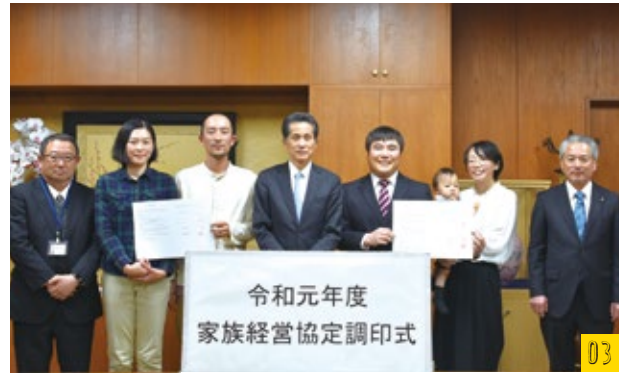
04

児童クラブの指導員へ 乳酸菌ドリンクを配布

3/23

学校休校により多くの子どもたちが児童クラブで過ごしているなか、(株)こころ笠間ミルクセンターが、子どもたちを見守る児童クラブの指導員へ、自社で取り扱っている乳酸菌ドリンク「明治プロビオヨーグルトR-1」を無料配布しました。

笠間ミルクセンター代表の野村さんは、「大変な状況のなか、私たち職員を含め、子育てをしながら働く多くのお父さんお母さんが、児童クラブの指導員の皆さんに本当に助けられています。これを飲んで少しでも活力にしてもらえれば。」と話し、日頃の感謝と応援の気持ちをこめて贈られました。



左から米田農業改良普及センター長、大久保さんご夫婦、山口市長、佐久間さんご家族、永田農業委員会会長

03

農業経営をより魅力的に

3/26

家族で営む農業において、経営方針や就業条件などを話し合い、取り決めるを行うことで健全な経営を目指す、家族経営協定の調印式が行われました。

今回協定を締結したのは露地野菜を栽培している大久保さんと、梨を栽培している佐久間さんの2組。どちらもご夫婦で、立会人となった山口市長からは「夫婦で一緒にできる仕事はなかなかない。この協定を機にますます経営を拡大していってください。」との言葉が贈られました。

06

児童クラブの子どもたちへ 出張版運動教室を開催

3/25

休校が続く子どもたちの運動不足解消とストレス発散のため、市内の健康増進施設「ゆかいふれあいセンター」が、児童クラブの子どもたちへ出張版運動教室を開催しました。

今回のために考えられたオリジナルの遊びで子どもたちは大盛り上がり!センターの照沼さんは、「遊んでいるときだけでも、明るい気持ちになってもらえたら嬉しい。」と、楽しく遊ぶ子どもたちの姿を見守りながら笑顔で話されました。



運動教室の様子

05

地域の課題解決の 活動を称える

3/13

岩間地区の「泉・南部巴川流域守る会」が関東農政局多面的機能発揮促進事業局長表彰で優秀賞を受賞しました。

農地の維持や美しい景観を育む活動が認められ、関東農政局管内の10都県の中から最優秀賞が3組織、そして優秀賞6組織のひとつに選ばれました。

市長からは「この活動は地域の課題解決のひとつ。今後もこれを励みに活動を続けてください。」との言葉が送られました。



左から岡野代表、山口市長、柳原副代表